


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに回復している」

項目	前回（平成31年4月判断）	今回（令和元年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	緩やかに回復している	




（注）令和元年7月判断は、前回平成31年4月判断以降、令和元年7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。






（判断の要点）

個人消費は、スーパーが堅調な動きとなっているほか、乗用車販売などが前年を上回っており、また、観光においても好調となっていることから、全体としては回復しつつある。生産活動は、電気機械で引き続き電子部品向けの需要が減少しているものの、プラスチックで小売店向けの需要が増加していることから、全体としては、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善しており、人手不足感が拡がっている。

【各項目の判断】

項目	前回（平成31年4月判断）	今回（令和元年7月判断）	前回比較
----	---------------	--------------	------

個人消費	回復しつつある	回復しつつある	
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある	
雇用情勢	改善しており、人手不足感が拡がっている	改善しており、人手不足感が拡がっている	

設備投資	平成30年度は前年度を上回る見込み	令和元年度は前年度を下回る見込み	
企業収益	平成30年度は減益見込み	令和元年度は減益見込み	
企業の景況感	現状判断は「下降」超	現状判断は「下降」超	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度並みとなっている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続き、また、各種政策効果に支えられ、景気が回復していくことが期待される。

ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復しつつある」

スーパーは、衣料品に弱さがみられるものの、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調な動きとなっている。コンビニエンスストアは、冷凍食品等が好調であることから、全体としては順調となっている。ドラッグストア販売は、新規出店効果に加え、化粧品や飲食料品等に動きがみられることから、前年を上回っている。家電販売は、冷蔵庫やエアコン等に動きがみられることから、前年を上回っている。ホームセンター販売は、園芸用品や日用品の動きが鈍く、前年を下回っている。百貨店は、衣料品に弱さがみられるものの、高額品に動きがみられ、全体としては底堅いものとなっている。乗用車販売は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を上回っている。観光は、大型連休やイベントの効果などから、好調となっている。旅行は、国内旅行は堅調、海外旅行は順調となっている。

(主なヒアリング結果)

- 総菜は、新規出店や店舗改装の際に売場面積を広くしていることや商品種類の増加などの効果により、好調となっている。(スーパー、中堅企業)
- 新型車の売れ行きが好調となっていることに加え、補助金の効果もあり、高齢者を中心に安全性を重視した車種が人気となっていることから、販売台数は前年を上回っている。(自動車販売)
- 大型連休中は天候も大きく崩れることはなく、また、瀬戸内国際芸術祭などのイベントもあり、例年と比べて客足は順調に伸びた。(観光施設)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

電気機械は、電子部品向けの需要が減少していることから、持ち直しの動きに一服感がみられる。プラスチックは、小売店向けの需要の増加から、緩やかに回復しつつある。こうしたことから、全体では一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

- 中国経済の減速などから、スマートフォン向け部品の生産量が減少している。(電気機械、大企業)
- 環境に配慮した植物由来のレジ袋やコンビニ向け食品容器の需要が好調である。(プラスチック、中堅企業)

■ 雇用情勢 「改善しており、人手不足感が広がっている」

有効求人倍率は、高水準で推移している。新規求人数は、医療・福祉等で増加しているものの、サービス業等で減少しており、前年並みとなっている。

- 対応スタッフを中心に人手不足となっている。募集をかけて解消を図ろうとしているが、なかなか応募がない。(医療・福祉、中小企業)
- ドライバーが不足している。長時間労働は正に向けて求人を出しているが、人手不足を解消できない状態が続いている。(運輸、中堅企業)
- ハローワーク等で有資格者の募集をかけているが応募がない。もし採用ができれば売り上げも伸びるだろう。(建設、中小企業)

■ 設備投資 「令和元年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」31年4-6月期

- 6月の景気予測調査の結果をみると、令和元年度は全産業で4.3%の減少見込みとなっている。
- これを業種別にみると、製造業で11.5%の減少見込み、非製造業で13.2%の増加見込みとなっている。

- ライン増設に加え、新商品開発のための投資が増加。(電気機械、大企業)
- 新規出店、店舗改装を予定。(小売、中堅企業)

■ **企業収益** 「令和元年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」31年4-6月期

- 6月の景気予測調査の結果をみると、令和元年度は全産業で6.2%の減益見込みとなっている。
- これを業種別にみると、製造業で8.0%の減益見込み、非製造業で2.1%の増益見込みとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家及び分譲で前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

■ **公共事業** 「前年度を上回っている」

- 前払金保証請負金額(令和元年度6月累計額)でみると、国、独立行政法人等、県及び市町村において前年度を上回っており、全体としても前年度を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (平成31年4月判断)	今回 (令和元年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
香川県	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→	個人消費は回復しつつあり、生産活動は一部に弱い動きがみられるものの、回復しつつあるほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
徳島県	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→	個人消費、生産活動は持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
愛媛県	回復しつつある	回復しつつある	→	個人消費は緩やかに回復しつつあり、生産活動は一部に弱さがみられるものの、持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。
高知県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→	個人消費は持ち直しており、生産活動は緩やかに持ち直しているほか、雇用情勢は改善しており、人手不足感が広がっている。